

# 保険ショップNEWS

ドライバーの歩行者発見の遅れが・・・!!

## ★進化する予防システム

しかしながら、ハイビームの使用は対向車等にとっては、眩しさによりその前の歩行者が見えにくくなる等、かえって危険ではないかという意見もあります。

こうした問題の解決のため、対向車に応じてハイとローを自動で切り替えるAHB（オートマチック・ハイビーム）が開発されて一部の車には装備されています。

またこれを発展させたのがADB（アダプティブ・ドライビングムービー）。前方に車両を感知すると光を当てて良い部分と当てない方が良い部分を判断するシステムで、対向車や先行車に眩しさをあたえず、かつ歩行者を認識しやすくするというものです。

来年以降の新型モデルには導入される可能性が高いようです。

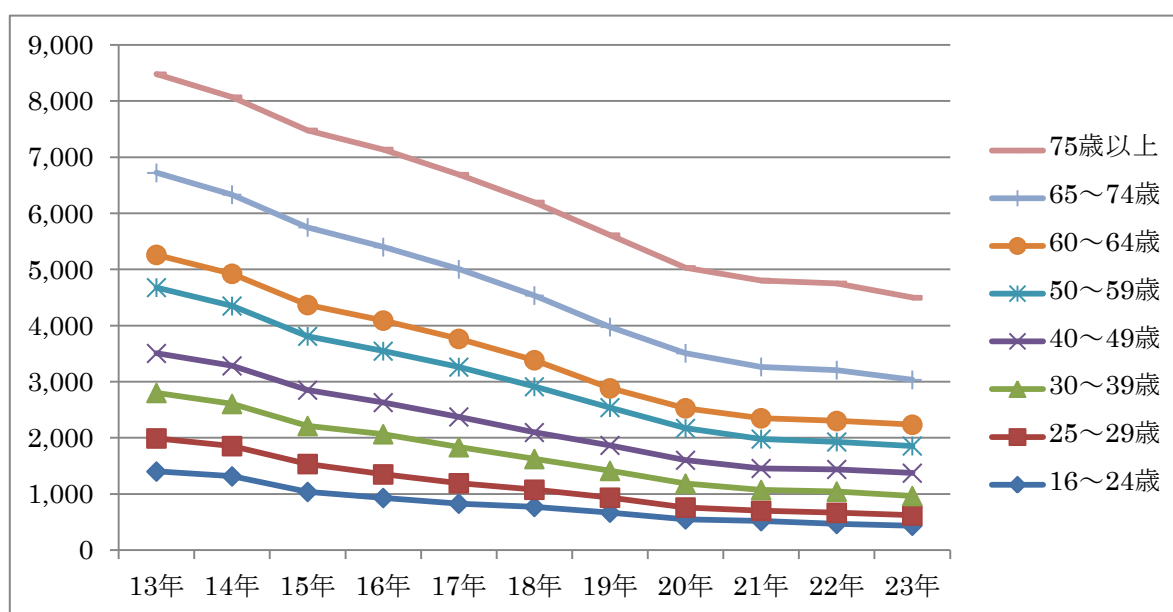
## ★夜間走行中の注意点！

夜間走行中、横断歩道以外の歩行者には注意しなければなりません。夜間における高齢者の道路横断中の事故が多発している現状では、常に「横断歩行者がいるかもしれない」という予測運転を行うとともに、暗くて対向車のいない道路では可能な限り上向きハイビームを使用し道路両サイドから横断してくる歩行者について発見の遅れがないよう注意することが必要です。

今後、高齢化社会が進み高齢者の関連する事故の増加が懸念されます。

ドライバーは、道路横断中の高齢者がいないかには十分注意しましょう。

## 【年齢層別状態別死者数の状況】



統計センター資料より